



長崎工場

 本多産業株式会社

【本 社】神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3814
TEL:045-869-1133

【長崎工場】長崎県雲仙市吾妻町布江名677
TEL:0957-38-3520

連載は
まだまだ
続きます

Q3 連載してよかつたことや、反響は?

自分の苦労話は家族にも積極的には打ち明けていませんでしたので、娘たちや、年の離れた妹から「知らないことばかり。すごい」「こんな大変だったの」と驚かれました。家族に知つてもらう機会となり、感謝しています。

与えられた境遇に順応しながら、逃げずに、気が付けばずっと「化学」という自分が好きなことをやってきました。社員にはいつも「考える。既にあることをやることができないことはない」と伝えています。私自身も、いつまでも挑戦する気持ちを持ち続けたいです。

Q2 どんな方に読んでほしいでしょうか?

特がないのですが、強いて言えば、「自分なんて大したことない。力もなく、学歴もない」など引け目を感じている人にとって、何かしらの発奮材料になればと思います。

中学時代の恩師・宮崎輝氏、その弟で旭化成社長の宮崎輝氏、会社員時代の先輩・岡野良一氏、そして幼少期から支えてくれた母。今の自分があるのは、多くの出会いがあったからこそ。私の経験が、これから夢に向かって頑張ろうという人の励みになればうれしいです。

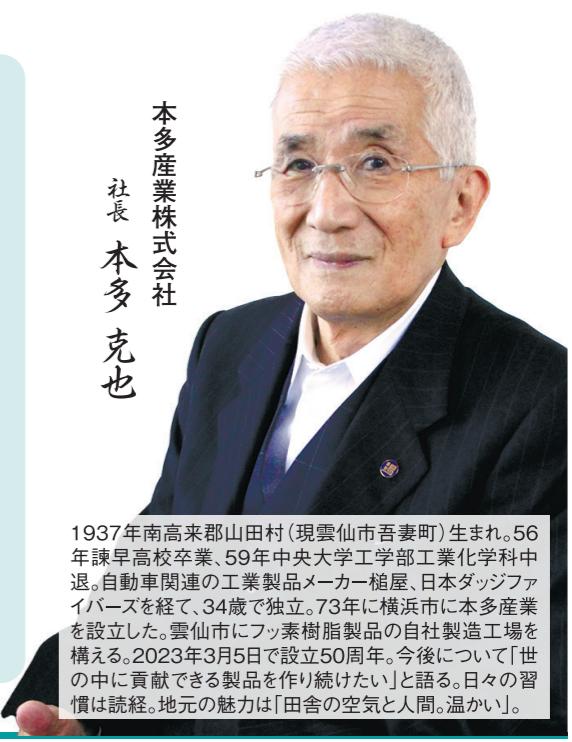
Q1 今回、自己史の連載を始めたきっかけは?

友人である、ジスコ不動産代表取締役の徳永耕一さんに「本多さんの経験を語つてみらんですか」と勧められましたがきっかけです。人生はいい思い出ばかりではなく、どうしようか悩みました。創立50周年の節目ということもあり、決めました。

徳永さんが書き書きを担当してくださるので、いつもリラックスして話すことができます。校正はうちの社員が手伝ってくれています。ありがとうございます。

布施の心

本多産業株式会社
社長 本多 克也



1937年南高来郡山田村(現雲仙市吾妻町)生まれ。56年諫早高校卒業、59年中央大学工学部工業化学科中退。自動車関連の工業製品メーカー植屋、日本ダッジファイバーズを経て、34歳で独立。73年に横浜市に本多産業を設立した。雲仙市にフッ素樹脂製品の自社製造工場を構える。2023年3月5日で設立50周年。今後について「世の中に貢献できる製品を作り続けたい」と語る。日々の習慣は読経。地元の魅力は「田舎の空気と人間。温かい」。